



武蔵台学園だより 9月号

東京都立武蔵台学園 校長 金子 猛

〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-8-28

電話 (042) 576-7491 FAX (042) 576-7526

ホームページアドレス <http://www.musashidai-sh.metro.tokyo.jp/>

いじめ防止の取組について

副校長 小松 弘喜

夏季休業が終わりました。本校でも分教室でも、児童・生徒の活気ある声や笑顔が戻ってきました。7月から8月にかけては、日本各地で気温35度以上の猛暑日が続くとともに台風や雷による大雨に見舞われるなど、過酷な気候でした。お子様の体調を維持するのに苦心されたこととお察しいたします。

さて、都立武蔵台学園では、校内を挙げていじめ防止の取組を進めております。まず、年度初めに「都立武蔵台学園 いじめ防止基本方針」を策定し、その中で「いじめは絶対に許されない」との共通認識の下、保護者・地域・関係機関と学校が連携して、いじめの早期発見に努めること、いじめられた児童・生徒が安心して学校に通えるよう組織を挙げて守り通すこと、校内でいじめを見て見ぬふりをせず声が上げられる雰囲気・環境を作ることを基本的な考え方を示しています。そして、同方針に基づき、二つの会議を実施しています。一つは、本校、分教室の主要スタッフで毎週実施している「企画調整会議」に組み込んだ形で「いじめ防止対策委員会」を開催し、いじめにつながりうる児童・生徒の動きを共有し対応しています。もう一つは、6月に本校では「学校サポートチーム」を開き、学校運営連絡協議会の構成員の方と、校内におけるいじめの未然防止、早期発見、早期対処のための対策を話し合いました。そこでの知見を日々の教育活動の中でのいじめ防止の視点や教員研修等に生かしています。分教室では定期的に病院との連絡会を開催し、その会議の中で、児童・生徒の状況も共有しながら、病院スタッフとの連携を図っています。

引き続き、保護者の皆様におかれましては、お子様に普段と異なる様子が見られましたら、どんな小さなことでも結構ですので学校に情報をお寄せください。その情報共有こそが、いじめの芽を摘むことにつながり、学校教育の質の向上につながるものと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



★コラム 分教室【制限緩和以降の分教室の様子について】★

分教室は病院の中の学校のため、新型コロナウイルス感染症対策が一般の学校よりも厳しい3年間でしたが、今年の5月以降、教育活動の制限が少し緩和されました。

ひだまり学級では、校外学習の実施時間を延長し、より充実した内容で実施できるようになりました。昼食はまだ学校に戻ってからとなっていますが、日頃病棟で食事をしている児童・生徒にとっては、教室で友達と一緒に食事ができることがとても嬉しそうでした。また水泳の授業も再開しました。再開にあたり、病院と合同訓練を行い、安全な実施のための準備をしっかりと行いました。

わかば学級では、7月下旬に、昭島天体観測所の所長を講師としてお招きし、星空教室を開催しました。当日は、夜の学校に集まるということで、児童・生徒はわくわくしながら登校しました。天体の話をうかがったり隕石を手にとって観察したりした後、5階にある広場に設置した望遠鏡で、天体観測をしました。肉眼では見えない星や月のクレーターを見ることができて参加した児童・生徒はとても感動していました。